

はつらつ 宮っこ

ID 1008394

満点の笑顔
世界へ届けたい



1 右から平井さん、佐藤さん、水谷さん

宇都宮チアリーディングクラブ^{エンジェルス}ANGELS

佐藤 彩優さん(富屋小学校 4年)
平井 結月さん(明保小学校 3年)
水谷 茅那さん(豊郷南小学校 3年)

プロフィール

市内を拠点に、84人の部員数を誇るチアリーディングクラブ。全国大会出場経験は多数あるが、今年3月に開催された「USA オールスターナショナルズ2026」のMini編成チアリーディング部門Level 1 Smallにて初優勝を果たした。

本市在住の佐藤彩優さんと平井結月さん、水谷茅那さんの3人が所属する「宇都宮チアリーディングクラブANGELS」。今年3月に行われた国内最大級のチアリーディング大会「USAオールスターナショナルズ2026」のMini編成チアリーディング部門Level 1 Smallで、初優勝を果たしました。

優勝が決まった時は「信じられない気持ちでいっぱいだったが、うれしかった」と語る佐藤さんの得意技はバックブリッジです。立ったままの状態からブリッジし、そのまま後方へぐりと回って立ち上がる技です。「優勝できると思わなかったのでびっくりした」と驚く平井さんは、片足で立ち、もう片方の足を真横か斜め前に上げて、かかとを手でつかんでキープするヒールストレッチが得意技です。「頑張って優勝できてうれしかった」と喜ぶ水谷さんは、スコープオンという、片足で立ち、もう片方の足を後ろから頭の上へ高く反り上げ、背中の中から両手でその足をつかんでポーズを決める技が得意です。どれも一朝一夕にできる技ではないため、3人は「何度も繰り返し練習した」と

口をそろえます。今後はバック転やバック宙を習得したいという3人。どちらも恐怖心との戦いが最大の壁ですが、将来出場する大会を見据え「できるように頑張る」と力強く語ります。

週2回の限られた練習時間の中で「一番楽しい練習はタンブリング」と話す3人。床の上で、全員のを合わせてアクロバティックな演技を行うものですが、1、4年生までの混合チームのため、体の大きさなどが影響し、うまく合わせることができないこともあります。「練習は大変だけどつらいとは思わない。とにかくチアリーディングが楽しい」と語る平井さんの言葉にうなずく2人の様子からも、仲の良さがうかがえます。

観客に「笑顔」や「元氣」を届けるチアリーディング。たくさん人の難しい技を決めながら「笑顔」でいることを、佐藤さんは「見ている人みんなが笑顔になりますように」と思いながら演技しています。と100点満点の笑顔で語ります。

将来は、チアリーディングの本場アメリカで競技したいという3人。その笑顔の先には、世界へと羽ばたく無限の未来が広がっています。